

欠番 12.0.0

【解説】

「欠番」は、表示されていない数字を探すゲームです。

画面に9個表示される2桁の数の1の位の数字を見て、0から9の数字の中でこれらに含まれない数字のキーを押してください。これを10回正解するまでの経過時間が成績になります。

時間を掛ければ何の困難も無い問題なのですが、時間を競うようになっているので慌てているとミスが発生しやすくなります。

疲れて注意力が低下している時などは目に見えて成績が低下して、調子の良い時と悪い時の差が歴然と現れたりします。

【操作】

“return”又は“enter”キーでゲーム開始するので、回答のキーを押して下さい。

10回正解すればゲーム終了です。

“esc”キーでアプリケーション終了します。

ゲームの詳細は“H”キーで表示されます。

ウインドウ右下に並んでいるボタンでも操作可能です。

【成績記録】

バージョン12.0.0より「欠番」の成績記録はユーザー毎の書類フォルダ内の“henjinsoft”フォルダ内の“欠番”フォルダ内の“欠番の成績”ファイルに保存されていて、このファイルのバックアップが有れば、障害時の復旧や新しいPCに入れ替える等の際に成績を移行するために使用出来ます。

この仕様のために、システムから「書類フォルダにアクセスしようとしている」と言った旨の確認が表示される事があります。

※：書類フォルダの名称はシステムにより異なります。

（“書類”、“ドキュメント”、“Documents” など）

仕様変更及び動作タイミングが微妙に変わった事の為、バージョン11.0.4以前の成績は引き継がれません。

【動作環境】

使用するOSによって複数の版があります。動作環境や版毎の制限事項については、別に添付している「動作環境について_Unity」というドキュメントを参照してください。

動作にはインターネット接続や他のアプリケーション等のインストールを必要としません。

【インストール】

「欠番」は特にインストール作業を必要とはしません。どこからでも起動できるので適当な場所に置いておいてください。不要になった場合も単にファイルを削除するだけで構いません。

起動すると設定や成績記録のためのファイルを作ります。ファイルの場所は動作環境に依存します。

【配布条件】

「欠番」は、Freeware です。複製・配布は自由ですが、内容の変更等は出来ません。その他、一般的な Freeware のルールに従って下さい。

なお、配付に関しては自由に行って構いません。ネットワークへのアップロードやCD-ROM等への掲載等、どのような媒体に転載する場合でも、作者の承諾は不要です。

【開発環境】

「欠番」は、Unity2022.3.62f3で作成しています。

【バージョン履歴】

2026.08.17 12.0.0

Unity2022で作り直し

2025.10.27 11.0.4

Unityのセキュリティ問題（CVE-2025-59489）の対応

2022.07.16 11.0.3 (macOS版のみ)

macOS-12(Monterey)での不都合対応

2022.03.28 11.0.2

細かな動作の調整

2021.07.19 11.0.1

画面表示の微調整

2020.12.04 11.0.0

Unity2017に移行

2020.06.27 10.0.0

初版

2026.08.17 竹内 (Macの変人) 喜代志